

大嶋 浩美 *Hiromi Oshima*

-profile-

栃木県立宇都宮女子高等学校、東京音楽大学を卒業後、東京音楽大学大学院音楽研究科器楽専攻鍵盤楽器研究領域（ピアノ）修士課程を修了。ピアノを東誠三、菊地麗子、バイオリンを三戸泰雄の各氏に師事。大学院修了後、M. サワー（シカゴ交響楽団首席ピアニスト）氏のもと、アメリカを中心に研鑽を積む他、欧米各国にて、名教授に師事、国際セミナーのマスタークラスを修了。2008 年～2010 年、日本最大のクラシック音楽祭 “LA FOLLE JOURNÉE au JAPON 「熱狂の日」 音楽祭” に出演。2014 年、世界遺産「日光の社寺」登録 15 周年記念シンポジウムにて、オープニング演奏を務める。2015 年、日光東照宮四百年式年大祭記念 館野泉ピアノ・リサイタルに出演、日光東照宮四百年式年大祭 奉祝 大嶋浩美ピアノ・リサイタルを開催する他、2016 年、2023 年、2024 年に奉納リサイタルを開催。また、ソリストとして、Polish Silesian Philharmonic Orchestra（於・ポーランド）、栃木県交響楽団を始め、オーケストラと共演する等、多数のコンサートに出演。2024 年、リサイタルデビュー 15 年を迎える。2017 年、CD「伊福部昭・黛敏郎・池野成打楽器作品集」をリリース（レコード芸術誌準特選）。その他、心身を豊かにする音楽療法を取り入れ、高齢者施設への慰問コンサートが続けている。コロナ禍で、慰問活動が休止となったが、施設内で音楽を楽しんでもらおうと、「音楽で笑顔を！音楽を届けよう！プロジェクト」を立ち上げ、2020 年、2021 年にコンサート DVD を日光市に寄贈。

また、日光市教育会教育講演会や教育施設での講演活動の折には、ピアノとバイオリンの演奏の他、楽器体験コーナーを設けるなど、ワークショップを開催し、次世代へのクラシック音楽の普及活動、文化芸術の振興発展にも力を入れている。2006 年～2012 年、母校、栃木県立宇都宮女子高等学校オーケストラ部講師を務める。2020 年、文化庁「芸術家の派遣事業（文化芸術による子供育成総合事業）」で講師を務める。2024 年、第 7 回とちぎ次世代の力大賞・学術芸術スポーツ振興部門にて優秀賞受賞。「心に響くもの」を信条とし、現在、演奏活動を行う傍ら、講演活動、後進の指導（ピアノ、バイオリン）にもあたる。とちぎ未来大使。

